

農場だより
2021年度
1~3月号

課題研究発表会

2年生の農業系列対象に開催しました。果樹班では、「マルチシートが温州ミカンの糖度・酸度に及ぼす影響について」「ミカンの剪定枝を使った堆肥作りについて」「摘果ミカンを使った加工品を考えよう」野菜加工班では、「オリジナルソース作りに取り組んで」以上の発表でした。1年間取り組んだ集大成の報告です。緊張しながらも最後までがんばりました。校長先生・教頭先生はじめ3学年の先生方が視聴してくれました。ありがとうございました。



1月20日

果樹

ハッサクの収穫も終わり、やっと平谷園（学校から一番遠い圃場）のレモンが収穫できると圃場を訪れ、果実を確認すると果皮が柔らかい！！寒害です。1月下旬から気温が低かった影響です。約3分の2売り物になりません。山間にあるレモン園は、冷気が逃げにくい地形が原因です。

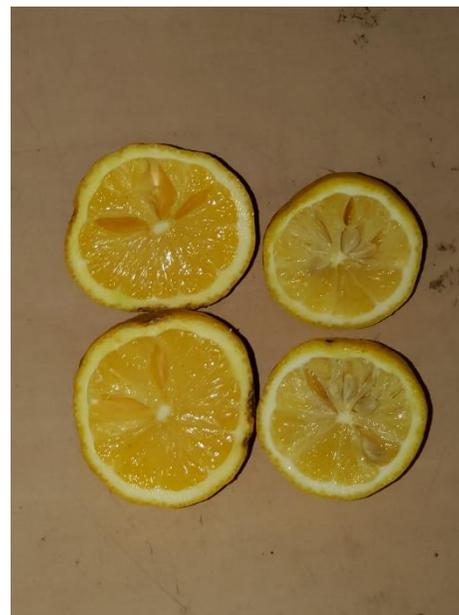
被害の様子

- ・ 果実の軟化
- ・ 枯れ枝
- ・ 落葉



被害果

果実が凍結してしまうと、す上がりしてしまい苦みが生じます。



2月8日

学習成果発表会

普通系列・農業系列・福祉系列・情報系列・商業系列・総合福祉系列・進学・就職体験記・ソフトテニス部・地域貢献チームの順番にそれぞれ発表しました。大舞台での発表は、緊張するものです。生徒は、よく頑張りました。



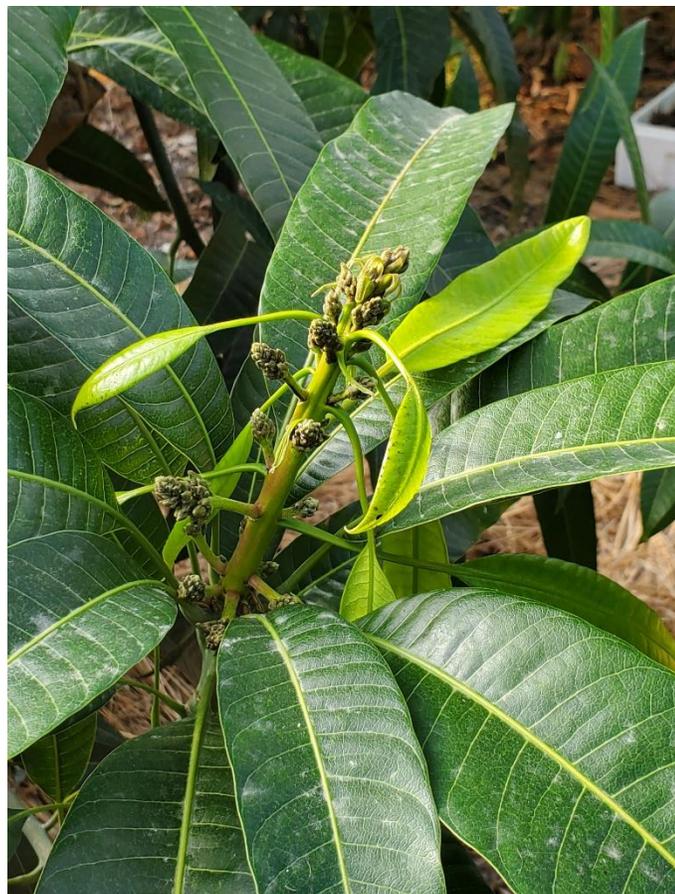
農業系列では、「アグリ☆スマイルの復活」と題しまして今年度、農業クラブ県大会で発表した内容を発表しました。時間制限を気にしなくていいので余裕を持って発表できました。ご苦労様です。

2月8日

果樹

今年は、少し早い！マンゴーの開花

例年に比べ、1～2週間開花が早い状況です。しかし、まだこれから咲こうとする樹もあり、今年は、収穫期間が長くなりそうな予感！！いつもお借りするミツバチは、この時期、ウメの蜜を集めています。それまで、ハエにがんばってもらいます。



ハエは、サナギの状態で購入します。その後、魚の粗を置き世代交代させます。

2月28日

果樹

和歌山県教育広報誌の表紙を飾る

本校の生徒(岸くん、垂水くん)が、表紙を飾ってくれました。

特集
変わる！
わかやまの農業教育

わかやま農業教育一貫プロジェクト 令和4年度入学生から本格始動！

地域農業をリードする人材の育成

わかやま農業教育一貫プロジェクトは、農業系高校4校(紀北農芸・有田中央・南部・熊野)と農科大学校が専門的な授業等で連携することによって、5年一貫の教育システムを構築する事業です。

これにより、高度で優れた専門性や実践的な知識・技能を備え、地域農業をリードしていく人材の育成を目指しています。



農産物で授業 温室での授業

和歌山ならではの学び

農業系高校においては、和歌山の主要な農産物である果樹(ウメ・カキ・モモ・ミカン)の栽培に特化し、研究施設等と連携しながら学習を進め、高校生はもちろん、教員の専門性の向上も図ります。

農科大学校への進学後は、農業系高校で学んだ科目の一部を免除することで、その時間を活用した、より深い研究が可能となります。

この一貫教育を通して、スマート農業や6次産業化についても実践的な実習や研究を行い、効率的な栽培につながる高い技術力や経営的な視点を持った人材が育つことを期待しています。

農業科特別選抜を導入

和歌山県教育委員会HP
農業科特別選抜へ▶



農業科で実施

令和4年度に向けて、農業を学びたいという意欲のある県内外の中学生を対象として、通常の入学選抜前にも、農業科特別選抜を実施しました。実施した高校は、紀北農芸高校と南部高校で、令和4年2月上旬に面接と作文の検査が行われました。

さあ！農業への扉を開こう

農業を将来の仕事として真剣に考えたい、和歌山の農業を支えたい、そのような熱い思いを持った中学生に、ぜひ受験してもらいたいと思っています。



切磋琢磨しながら成長

この特別選抜により、全国から集まってきた高校生と県内の高校生が切磋琢磨しながら、果樹王国・和歌山で、お互いに高め合いながら果樹栽培を学びます。

また、全国募集の導入とともに、和歌山の農業教育を全国に発信して注目されることで、高校生たちが自信と誇りを持つこともつながると期待しています。



ウメ収穫

わかやま農業教育一貫プロジェクト

地域農業をリードする人材の育成

農科大学校

●農業のスペシャリスト
専門性の高い実習や、最先端的な視点を持った人材の育成

カリキュラムで連携

- 科目の一部免除
農科大学校では、高校で学んだ科目は一部免除免除。その時間を活用し、より深い研究が可能
- プロジェクト学習
農産物加工・農科大学校・試験場・研究所が連携

果樹王国・和歌山ならではの学び

- 果樹栽培
ウメ・カキ・モモ・ミカンなどの果樹栽培に特化
- 加工・流通
6次産業化の学び
- 地域連携
農業法人や農家と連携

わかやま農業高校マルシェ

わかやま農業高校マルシェは、農業教育の学びの成果を発揮し、農業教育の魅力を地域に発信することを通して、それぞれの地域農業の課題解決に向けた学習活動につながるものです。さらに、農業系高校のない和歌山市で開催することで、農業系高校の取組を広くPRしています。



日時 毎週金曜日の12:00~13:00
(学校行事等を除いて原則開催)
場所 JR和歌山駅前西口オープンスペース
内容 各高校が農産物や加工品を販売

マルシェに参加した高校生の声

- 和歌山市でこのような農産物の需要があるかを学ぶことができました。
- 新米袋は持ち帰りを考え3kgと5kgを用意したり、ミカンはよく見えるように透明の小袋に入れられました。販売の視点での学習ができました。
- 地元でもよく売れるドライフルーツを、和歌山市の皆さんにも味わってほしいと思って用意しました。販売結果やお客様の声を次の販売につなげたいです。
- 冬には、ハウサイやダイコンなどの銀料理にぴったりな野菜や、クリスマスに欠かせないポインセチアを販売しました。自分たちが栽培した農産物を買ってもらえて良かったです。

紀北農芸高校

和歌山県唯一の農業科専門高校です。カキ・モモを中心とした果樹や、野菜・草花の栽培を学ぶ施設園芸科、農産物の加工や販売・流通などを学ぶ生産流通科、機械・土木の専門知識を学ぶ環境工学科の3学科が設置されています。

南部高校

食と農産科と普通科を併設し、「南高専」の命名由来にもなった学校です。ウメの栽培を中心に、野菜・草花の栽培、加工・販売や調理など、「農産」から「食」に関する内容まで幅広く学びます。また、令和4年度から全国の農業科で初めて、調理師資格が取得できるコースが設置されます。

有田中央高校

総合学科高校の中に、令和4年度から、農業系列と新たにカルチャー農業系列を設置し、新しい農業教育を目指します。特産品であるミカンを中心に、マンガやフドウ山椒など、地域の特産品の栽培から加工・販売までを学びます。

熊野高校

総合学科と看護科が併設された学校で、2年生から農業科目を選択して、学習を深めることができます。ウメやミカンなどの果樹、野菜や草花の栽培、森林や環境などについて学びます。

農業系高校の紹介

輝く!

Wakayama Prefecture Education Public Relations Paper

和歌山県教育広報誌

紀の国の教育

紀の国
No. 46
第36回国
2022.3



CONTENTS

- P4 先生も学び続けています!!(自主研究会)
第42回 近畿高等学校総合文化祭 和歌山大会
- P5 展示・イベント
- P6 きのくにコミュニティスクール(由良町)
- P7 きのくに教育めぐり(日高川町教育委員会)

【写真】わかやま農業高校マルシェの様子(JR和歌山駅前西口オープンスペース)

3月1日

近畿大学付属農場見学

新しく建てられた実習棟を見学させていただきました。本校が第1号の見学者だそうです。高価な研究機器に生徒もビックリの様子でした。宿泊施設も整っており充実した研究ができる。

職員の説明に生徒は、熱心に質問しメモを取っていました。



3月9日

近畿大学付属農場見学

晴天に恵まれ、圃場を見学。マンゴー温室やSSが使えるように管理しているミカン園そして柑橘遺伝資源保存園を見せていただきました。



近畿大学の先生方、丁寧に説明していただきありがとうございました。

3月8日

全国共済農業協同組合連合会 和歌山県本部からの寄付



↑商品名「つま一番」野菜で栽培したダイコンをスライスして乾燥させると切り干しダイコンのできあがり。

「冷凍庫」200V使用→
搾った果汁を冷凍保存！ジャムやソース作りに役立ってます。



←「ホールスロージャーサー」
2台目買って頂きました。これでミカン
を搾るぞ！

3月28日

全国共済農業協同組合連合会 和歌山県本部からの寄付

↓「乗用草刈り機」草刈りを楽しく！生徒も喜んでくれるはず。



「タンク付きミニ動噴」→
ホースの長さが違うよ！少
量の消毒に使用予定！



←「刈り払い機」やっ
と新調できました。実
習のプログラムに組み
込みます。安全に！大
切に！



[トップページに戻る](#)

本当に有り難うございました。大切に使用して
頂きます。

3月28日